

夢をはぐくみ 志に高める

みやぎの志教育



志教育って、児童生徒が夢や将来になりたい職業を持つことができればいいのかな・・・？



いいえ
目指すのは「自分のよりよい
生き方を求める姿」です。

自分の夢や目標に向かって、
今何をすればよいのか考えて
行動できるように促すこと、
学んだことを社会に役立てよ
うとする視点が大切です。

「みやぎの志教育」とは

小・中・高等学校、特別支援学校の全時期を通じて、人や社会と関わる中で、**社会性や勤労観を養い**、集団や社会の中で**果たすべき自己の役割を考えさせ**ながら、将来の社会人としての**よりよい生き方を主体的に求め**させていく教育です。

学習指導要領においても、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」育成すべき資質・能力の一つとして整理されています。今こそ「志教育」の実践が求められます。



令和2年2月
宮城県教育委員会

10年間の成果

※志教育推進のため、これまでに
27市町村 のべ52地区を
推進地区として指定しました

○学校と地域との連携が深まり、児童生徒は自分の住む地域のよさを知り、地域の方々への感謝の気持ちや地域のために貢献しようとする思いをはぐくむことができた。

地域の伝統文化



＜伝統芸能の継承＞
総合的な学習の時間に
地域の方々から指導を
受ける。【かかわる】



＜地域行事への参加＞
地域のお祭りやイベント
などに積極的に参加する。
【かかわる はたす】

防災活動



＜地域防災活動への参加＞
中学生、高校生も地域の方々と、
それぞれの役割を担う。
【かかわる もとめる はたす】

ほかに

- あいさつ運動
- タウンミーティング
(地域の未来を地域の方々と語り合う)
- 地域の産業についての調査
- 職場体験
- 防災マップ作成
- 地域の清掃活動
などの活動に取り組みました。

人の役に立つ
喜びを知った。

地域の方と一緒に活
動して、自分にもでき
ることがあると思った。

復興に貢献できるよ
うな大人になりたい。

地域の一員として、
地域のために何か
したい。

地域のすばらしさを
伝えていくために何が
できるかを考えたい。

推進校児童生徒の声



○将来の夢や目標を持つ児童生徒が多い。

○難しいことでも失敗を恐れず挑戦する児童生徒が少しずつ増えてきている。

小・中学生の自己像

小学校6年生

項目	令和元
将来の夢や目標をもっている	86.0%
人の役に立つ人間になりたいと思う	95.3%
自分にはよいところがある	78.8%
難しいことでも失敗を恐れず挑戦する	79.5%

中学校3年生

項目	令和元
将来の夢や目標をもっている	70.7%
人の役に立つ人間になりたいと思う	93.8%
自分にはよいところがある	69.8%
難しいことでも失敗を恐れず挑戦する	69.3%

文部科学省「全国学力・学習状況調査」本県結果(仙台市を除く)
※4つの項目のうち、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合

「志教育」3つの視点から活動を見直して取り組みました

- 様々な人との関わりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。
- 集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。

人と「かかわる」

- 学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させる。
- 社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。

よりよい生き方を「もとめる」

- 集団や組織の中で、自分の果たすべき役割を認識させる。
- 自己の役割を果たすことによって自己有用感を高める。

社会での役割を「はたす」

地域の産業



＜地域での農業体験＞
特産物の栽培や収穫を体験する。
【かかわる もとめる】



＜起業体験＞
特産品を生かして商品化し、販売する。
【かかわる もとめる はたす】

○異校種間の交流が活発になった。

○小・中・高等学校，特別支援学校の教員が合同で志教育の指導計画の改善を図り，発達の段階に合わせた指導を行うことができた。



大人になったら人を幸せにできる人になりたい。

支援活動



＜長期休業中の学習支援＞
【かかわる はたす】



＜中学生の登校支援＞
【かかわる はたす】



＜高校生の読み聞かせ＞
【かかわる もとめる はたす】

自分の住む地域をもっとよくするためにできることを考えたい。



ほかにも

- 部活動交流
- 小学生の高校訪問
- 小・中・高で地域のよさについて語り合う
- 特別支援学校生徒との紙すき体験などの活動に取り組みました。

課題

- ①全体計画，年間指導計画の活用 → P4へ
- ②家庭，企業との連携強化 → P4へ
- ③児童生徒の学びの接続 → P5へ
- ④志教育担当教諭の役割の明確化 → P6へ



【課題解決に向けて】

①全体計画、年間指導計画の活用



児童生徒の実態把握を行い、志教育の目標とともに、はぐみたい姿を**具体的に**設定します。

児童生徒自身が問題意識を持ち、考え、解決に向かって取り組み、**学んだことが今後に結び付くような活動を重点とし、計画に位置付けます。**

重点とした活動は、全職員で評価し、次の活動に生かします。

なるほど。取組を評価して改善していくために、はぐみたい姿を具体的にしておくことが大切なのですね。
児童生徒の主体的な活動を計画に位置付けて取り組んでいきます。

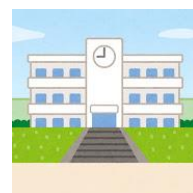


②家庭や企業との連携強化

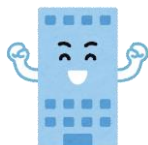
学校では

例えばこのような取組を・・・

- ・志教育に関わる活動を地域との協働で行う。
 - ・道徳科の授業を保護者や地域の方に公開する。
 - ・学校だよりやホームページで学校の様子を知らせる。
- など児童生徒が活躍する姿を、積極的に公開する。



企業では



職場見学や職場体験を行うことで

- ・様々な職業があることを知らせる。
- ・働くことへの関心を高める。
- ・将来設計に役立てる。 など



社会の様々な人々がそれぞれの立場で、児童生徒の教育に関わることが大切です。

『みやぎ教育応援団』を知っていますか

家庭、地域、学校が協働して子供を育てる仕組みの一つとして設立したもので、協働教育の人材バンクといえます。子供たちの教育を支えようとする企業、団体、個人等を教育応援団員として登録し、学校等の要望に応じて子供たちの学びを支援しています。



みやぎ教育応援団
イメージキャラクター

③ 児童生徒の学びの接続のために



小・中・高等学校，特別支援学校において，発達の段階を踏まえた志教育の推進に努めましょう。

例えば

- ・近隣の複数の学校で，共通の育てたい子供像を設定して取り組む。
- ・児童生徒の交流活動を通して，他校の取組について知る。
- ・小・中・高等学校，特別支援学校の教員が集まり，志教育に係る年間指導計画の改善を図る。 など

※「小・中・高等学校における『志教育』ではぐみたい姿」は「みやぎの志教育プラン」で確認しましょう。
<https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/112286.pdf>



「志シート(宮城県版キャリア・パスポート)」を活用して，児童生徒の学びを接続しましょう！

※いわゆる「キャリア・パスポート」について

小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について，特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として，各教科等と往還し，自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら，自身の変容や成長を自己評価できるような工夫されたポートフォリオのことで，独自の名称で呼ぶことができます。

教師にとっては，その記述をもとに対話的に関わることによって，児童生徒の成長を促し，系統的な指導に資するものです。

The image shows a digital form titled '志シート(宮城県版キャリア・パスポート)'. The top section is '未来への翼' (Wings to the Future) with a blue header. Below it are several input fields for '【したい職業・学びたい】' (Desired career/learning) and 'そのためには、こんなことをがんばりたい!' (To achieve this, I want to work hard on these things!). There are also checkboxes for '【振り返り】夢や目標をかかえるためにがんばったこと' (Reflection: Things I worked hard on to keep my dreams/goals). The bottom section is '志シート(宮城県版キャリア・パスポート)について' (About the sheet) with a list of instructions.

参考：小学校4年生版

※志シートは，HPからダウンロードし，学校の実情に合わせて内容やレイアウトを自由に変更することができます。

蓄積するシートの内容は，学校の実情に合わせて！

育てたい子供像から，重点化した取組についての記録を蓄積します。

例：道徳教育の重点目標に関わる学習のワークシート

学期や学年の目標についての振り返りシート

体験活動等に向けての目標や振り返りシート

(これまでのものを活用し，児童生徒が自己有用感の醸成や自己変容の自覚に結び付けられるように，大人が対話的に関わるができるものとして。各学年5枚以内です。)

学校間で連携を！

学年，校種を越えて持ち上がり，児童生徒が学習を見通し，振り返ることができるようにします。

④志教育担当教諭の役割

各学校において、志教育担当教諭の役割は異なりますが、志教育推進のために次のような役割が考えられます。

- ・志教育担当教諭が中心となって、全教職員で指導計画の改善を図る。
- ・重点とする取組の進捗状況を把握し、調整する。
- ・連携先との連絡・調整をする。
- ・志教育の取組を家庭や地域に発信する。
- ・みやぎの先人集「未来への架け橋」の活用を促す。 など

参考になる資料 (道徳教育, キャリア教育等)

みやぎの志教育

- ・みやぎの志教育プラン
- ・みやぎの志教育
- ・みやぎの先人集「未来への架け橋」
- ・みやぎの先人集「未来への架け橋」教師用指導資料
- ・みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」
- ・みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」教師用指導資料—道徳実践事例集—

文部科学省

- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編
- ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編
- ・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編
- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編
- ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編
- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編
- ・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編
- ・特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科等編（小学部・中学部）
- ・特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 自立活動編（小学部・中学部）
- ・「キャリア・パスポート」例示資料等について 平成31年3月29日

国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

- ・キャリア・パスポート特別編1「キャリア・パスポートって何だろう？」
- ・キャリア・パスポート特別編2「キャリア・パスポートで小・中・高をつなぐ」
～北海道「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」より～
- ・キャリア・パスポート特別編3「キャリア・パスポートで日々の授業をつなぐ」
～秋田わか杉「キャリアノート」『あきたでドリーム』と大館ふるさとキャリア教育より～
- ・キャリア・パスポート特別編4「キャリア・パスポートで『児童生徒理解』につなぐ」
～世田谷区尾山台小学校「キャリアン・パスポート」より～
- ・キャリア・パスポート特別編5「キャリア・パスポートを『自己理解』につなぐ」
～大分県中学校教育研究会進路指導・キャリア教育部会「自分を知ろうカード」より～